



-PRINTABLE HEMP WEAR-

**KAZE**

Made in Wakayama JAPAN

開催の記録

POP UP in  
紀伊国一宮  
伊太祁曾神社  
主催／合同会社WAKAYAMA WOODYS  
日程／令和四年三月二十日(日)



## ヘンプらしさを最大限まで活かした 唯一無二のPRINTABLE HEMP WEARが誕生

ファッション性と風合いなど、ヘンプ生地には魅力がたくさんあるにも関わらず、加工用のウェアがなかなかない。「ないなら作ってしまおう!」という発想からスタートした、PRINTABLE HEMP WEAR BRAND「KAZE」。

第一弾としてリリースされたのは、独特の表情と風合いを兼ね備えたプリントTシャツ。ヘンプ35%、綿65%のベストバランス。ヘンプという素材の良さを最大限に活かした、こだわりの商品が完成した。繊部分は綿50%、ヘンプ35%、ポリウレタン5%で、身頃よりも番手を太くしたりストレッチ性を持たせるなど細部までこだわり、洗濯後も型崩れしにくい。



イベント限定カラー「風光る」。  
春を思わせる若草色のTシャツが当日限定で登場。



旅しながら人間本来の生き方を描き伝えるアーティスト SHINOZAKI HIOSHIが、祈念行事のために制作した「祈」の判子をモチーフにウェアをカスタム。



## 多くの来場者に見守られながら KAZEの奏功と波及を祈願

2022年3月20日、KAZEローンチイベント「春に吹く風」が、伊太祁曾神社(和歌山市伊太祈曾)で開催された。

開催場所となった伊太祁曾神社は、日本中に樹木を植えてまわったとされる「五十猛命(いたけるのみこと)」を祀る神社。「木の神様」として、古くから地元民に親しまれてきた。

神道において、麻は穢れを祓う繊維として重要な役割を持つ。神域と現世を分ける結界の役割を持つ注連縄(しめなわ)をはじめ、祈祷に用いられる「祓え串」や「神宮大麻」「大麻」と呼ばれる神札(おふだ)にも麻の繊維が使われてきた。現在は一般的に大麻というと薬物が連想されがちだが、神社では今なお神聖なものとして扱われている。昔は繊維としての「大麻」と薬物としての「大麻」と異

なる漢字が用いられていたが、当用漢字の制定により統一されるようになったという。

古代から日本人の生活を支えてきた麻。その繊維としての素晴らしさや機能性、地球環境に対する新たな可能性に着目して生まれたのが「KAZE」だ。さまざまな人の縁やキーワードがつながっていくことで、伊太祁曾神社で神事を行うことや和歌山の織維業や語り合うことへの意義が深められていき、今回のイベントの開催が決定した。

イベント開始の午前10時、感謝と畏敬の念を持って自然へ向き合い、KAZEの奏功と波及を祈願する神事が執り行われた。多くの来場者が境内で見守る中、KAZE代表・辻岡大樹さんらとイベント関係者が、禴宜の奥重貴さんのもとで祈祷を授受。

その後、拝殿前で特殊伐採を担う株式会社マルイチ代表取締役・岩佐治樹さんが、「木遣り」を奉納。木遣りとは労働歌の一種で、木を遣り渡す(運ぶ)際に、息を合わせるために唄ったのが始まりだといわれている。独特的の節回しで、迫力のある木遣り歌。岩佐さんの力強い声が境内に響き渡った。

続いて、ミュージシャンRABIRABIが登場し、声と手拍子、そしてカリンバのみというシンプルな構成による演奏を奉納した。透明感のある歌声と軽やかなリズム。祈りが込められたパフォーマンスにより、厳かでありながらも温かな空気に包まれ、神事は無事終了。

暁天からのスタートであったが、神事が進むにつれて境内に太陽の光が差してきたことが印象的だった。

# ショートフィルム上映会



美しい音楽とともに聖地を映す「RINNE」、  
森林を守る職人に焦点を当てた「空師 SORA-SHI」

常盤殿にて、石井友規監督作品「RINNE」、北田一真監督・上野千歳監督によるショートフィルム「空師 SORA-SHI」上映会、ヘンプをテーマにしたSPECIAL TALK SHOWが開催。

「RINNE」は紀伊山地の靈場を舞台に神仏習合をイメージした4K映像作品。般若心経をサンスクリットで歌うマレーシアの歌手・イミー・ウエイによる「Prajna Paramita Hrdaya Sutram」との共演が、会場内を神秘的な空気で満たす。

社寺林などの特殊伐採を手掛ける株式会社マルイチの短編ドキュメンタリー「空師 SORA-SHI」は、特殊

な技術を駆使して木に登り、枝や幹を伐採する樹上作業の専門家・空師に焦点を当てたドキュメンタリーメイク。

北田一真監督は、「林業が抱える人材不足の問題や、美しい森を守っていくことの重要性などについて知ったとき、ぜひ映像にしたいと感じた」という。株式会社マルイチは、江戸時代から続く空師の職人技に、海外の技術も柔軟に取り入れながら伝統をアップデートしてきた。木や森に対する空師の想いやその仕事ぶりが伝わるストーリーに、上映後は会場が大きな拍手に包まれた。



## スペシャルトークショー

麻やニットのルーツとして  
Made in Wakayamaの持つ可能性

発起人であるPRINTABLE HEMP WEAR KAZE 代表・辻岡大樹さんをはじめ、伊太祁曾神社禰宜・奥重貴さん、株式会社エイガールズ・西秀敏さん、株式会社オカザキニット 代表取締役社長・岡崎秀昭さんが登壇。Boomerang Bags WAKAYAMA代表・貴志真帆さんによる司会のもとで、「麻と和歌山ニットの可能性」をテーマに語り合った。

引用されたのは、万葉集の歌によく登場する「あさもし」という「紀」にかかる枕詞。「あさも」というのは、麻裳(あさも)=麻の衣類のこと。麻の産地であった和歌山で暮らす人々は、すてきな麻の着物を着られるとして他国の人々の羨望の的だったという。岡崎さんは「成長が非常に早く、悪条件下でも十分に育つヘンプは、今綿以上に注目されています」と。奥さんは「神世の時代からあった麻の衣類・織物。ルーツは和歌山にあると、多くの方に知ってほしい」。SDGsやエシカル消費などに対してストーリーを伝えられるKAZEのような商品が、メッセージ性のあるツールとしての役割を果たしていくのでは」と。さらに、辻岡さんは「さまざまな人の協力のもとで試行錯誤しながら、こだわり抜いた商品が完成した。今後もMade in Wakayamaにこだわって、和歌山をもっとおもしろくしていきたい」と展望を語った。

上映会とトークショーを観覧した来場者からは「自身も山の仕事を携わっている。空師の映像を見ていろいろと感じるものがあった」「Made in Wakayamaの将来性が感じられるトークショーだった」などの声が寄せられた。



奥重貴さん  
(伊太祁曾神社禰宜)



岡崎秀昭さん  
(株式会社オカザキニット代表取締役社長)



辻岡大樹  
(ワカヤマウェディーズ CEO)



西秀敏さん  
(株式会社エイガールズ)



貴志真帆さん  
(Boomerang Bags WAKAYAMA代表)

# RABIRABI

ボーカルのaz3、パークッションのNanaからなるユニット。  
声と打楽器を自由自在に操り、二人が織りなす即興的な生演奏は、  
「縋文トランプ」の異名を持つ。



## 神社の境内という風情ある環境の中で、 3組のアーティストがパフォーマンスを披露

まずは、日本全国数々の神社仏閣で奉納ライブを行っている桑名晴子のライブ。急遽ステージを予定されていた御神木前から常盤殿へ。公演スタート時から常盤殿には人があふれ、屋外で立ち見する人も続出するほどの盛況ぶり。伸びやかな歌声が響く圧巻のステージで観客を魅了した。

続いて御神木前のステージでパフォーマンスをしたのは、和歌山出身の宅録シンガーソングライター・お寿司のともみ。この日は3ピースバンド「すしざんまい」で、人気曲から新曲までを届けた。“しゅわふわ系ポップ”

とも称される心地よい音楽に、多くの観客がドリンク片手に体を揺らしながら聴き入っていた。

ラストステージは、神事で奉納演奏を担ったRABIRABI。冒頭のトークでは、今年20周年を迎えることや、千葉・房総から車を走らせ来和し、朝6時に伊太祁曾神社に訪れた際、鳥居に当たる朝日と鳥の声に感動したというエピソードを語った。演奏がはじまるごとに、砂利敷きの会場はあつという間にダンスマロアとなる。演奏者と観客が融合するようなエネルギー溌々なパフォーマンスでイベントの終焉を飾った。



常盤殿でのDJで参加した、Koji\_kuarter氏（上）とイベントの立ち上げメンバーでもある、MIKI氏（下）。



お寿司のともみ

90年代生まれ、宅録SSW。  
トラックに乗せて歌とジムを弾く、和歌山にいる。  
好きなネタはえんがわとサーモン。  
嫌いなネタはコーン軍艦。



桑名晴子

1978年ハワイ・LAレコーディング「ミリオンスター」でメジャーデビュー。  
亡き桑名正博は実兄。  
誰もが認める比類なき魂の歌声の女性シンガーソングライター。  
現在もこころのうたび日本継続継続中。



## KAZE「春に吹く風」in伊太祁曾神社。

立ち上げメンバーである

「想い出つく郎Kチーム イタキソに間に合う」、

辻岡大樹さん、中谷一陽さん、三木裕介さんの

3人による後日談を、対談形式でお届け



辻岡 大樹

合同会社WAKAYAMA WOODYS代表。  
和歌山市を中心地にPRINT SHOP WOODYSを構える。  
2021年、PRINTABLE HEMP WEAR® BRAND「KAZE」をスタート。



中谷 一陽

和歌山EXPO代表。  
イベント制作・音響エンジニア。  
室内野外問わず和歌山のいたるところで、多種多様なイベント制作を行う。



三木 裕介

繊維用加工樹脂などの製造販売をする三木理研工業株式会社勤務。  
伊太祁曾神社を舞台にしたイベントの提案者、DJ。  
自然と音楽を愛するアルカホリック。

新しいカルチャー×歴史深い神社という珍しいイベント。開催することになったきっかけは？

三木／提案したのは僕。2021年に伊太祁曾神社で「RINNE」も手がけた石井友視監督作品「時の絲ぐるま」の上映会があって。そこで麻の話を聞いたんやけど、その頃がちょうどKAZEの立ち上げの時期で、いろいろとつながって。「あさもよしって知ってる？」って周りに声をかけたんです。木の神様を祀る神社で、カルチャーを通じて何かしたいなど。

辻岡／もともと二人は仲の良い先輩方で、よく飲みに行つていろんな話をしてたんです。自分としては、何をするかより誰とするかが大事。三木さんから提案があって、イベントをやってみようと思った。

中谷／僕と大樹もちょうどその頃、石井監督と話す機会があったし、いろいろなことのベクトルが合ってきたなど感じましたね。

辻岡／伊太祁曾神社さんサイドも、「こういう意義のある催しなら」ということで開催を快諾してくれて。「想い出つく郎Kチーム イタキソに間に合う」ってチーム名も考えてこの三人で打ち合わせを重ねていきました。

中谷／僕が個人的に中華にはまっていて、打ち合わせはいつも町中華で（笑）。

辻岡／結成早々にチームバーカーを作ったりして（笑）。楽しかったですよね。

三木／やっぱり一つのモノをみんなで作りあげるっていうよね。ただ単に作業としてこなしていくわけじゃなくて、運営サイドが共通の想いを持ってモノを作っていくっていう過程はやっぱり面白い。

辻岡／自分たちが楽しんでやってるし、どこまでもポジティブに動けました。

イベントに込められた想いやコンセプトとは？

辻岡／和歌山が誇るニット産業や、古くから所縁があつて、いろいろな可能性を持つ麻について、たくさん的人に知ってほしいという想いがありました。KAZEも、普段からヘンプウェアを愛用しているような人に向けて作ったんじゃないなくて、麻という素材に親しみのない人にもその良さを分かってもらえるようにこだわってきたんです。

中谷／そういう意味で、地元民に愛されている神社という会場はもちろん、トークショーのゲスト、出店者、アーティストたちも、いろんなジャンルが入り混じったイベント。コアになりすぎない、間口の広いイベントになったかと思います。

辻岡／エコフレンドリーなイベントにしたくて、来場者にエコバッグの持参を呼びかけたり、オリジナルのリユースカップを用意したのもこだわった部分かな。



今後の展開については？

三木／和歌山が持つすごいポテンシャルに気づいていない地元の人たちが多い。こうやって親しやすいイベントを開催することで、たくさんの人に知ってもらうことで、日常が豊かになるはず。

中谷／僕も、和歌山で暮らす人の地元への愛着心を育てていくべきだと常々思っていて。イベントを通していろいろなモノの価値を伝えることで、子どもたちの記憶に残せていけたらうれしい。

辻岡／実は、伊太祁曾神社での次回の開催も決定したんです。「KAZE」についても多方面から反響をいただいてて。「Made in Wakayama」や「麻の良さを伝えたい」という本気度というか、想いが伝わって良かった。

中谷／大樹は、本来アンダーグラウンドというか裏方にいる僕たちを、ジャンル問わず一般の方々を引き込めるようオーバーグラウンドしてくれる存在。今回つながった縁を大切に、回を重ねるごとによくなるようなイベントを作つてていきたいね。

三木／“イベントを一つやってはい終わる”じゃなくて、どんどんステップアップしていきたいよね。

辻岡／今回と同じように、妥協せずに一つ一つやっていこうと思っています。自信を持って来てくれた人につっかり伝わるイベントにしたい。次回が楽しみですね。



## 共にイベントを盛り上げていただいた出店者の皆さん

歐風カレーレストラン マイソール(カレーパン&チャイ)  
ozz kitchen茶豆亭(コーヒードーナツと食事、お弁当)  
おやつ屋アルマジロ&菓子屋ユキギエツキ(パン&お菓子)  
OLD FACTORY BOOKS(BOOK)  
菊井鉄製作所(アルミキーホルダー作り)  
紀州材の積木(棟本林業)  
喫茶ピュア(Jibie spice curry)  
来るべき世界(REUSE GOODS)  
KOO(WEAR)  
THE ROASTERS(coffee)  
Shangrila(帽子)  
seed folks×Atelier abstract(アクセサリー×ボタニカルキャンドル)

juicetrico(COLD PRESS JUICE)  
水星珈琲(coffee)  
Seneca(CBD VAPE,CBD焼き菓子)  
畠屋島田(ミニ畠作り)  
熱帶酒場(スパイスカレー and more)  
NOI(KIMONO WEAR)  
hallysorganicfarm aka まるはり農園(無農薬野菜)  
PuffPuffWear & noise.(WEAR)

ヒラク(枇杷葉温压)  
Boomerang Bags WAKAYAMA(ECO BAG)  
PRANA FOOD(RAW&CBD チョコレート)  
焼きいもスタンドB.S.P.B(焼き芋・焼き芋スイーツ)  
ヤクミラボ(ジャークチキン)



### 【協賛】

**OKAZAKI KNIT**  
株式会社オカザキニット

**菊井鉄製作所**  
有限会社菊井鉄製作所

**木村屋**

**新春**  
SHINSHUN INC.  
株式会社 新春

**DEEP JAPAN**  
株式会社ディープジャパン

**中野BC** 株式会社  
(Biochemical Creation)

**maruvishi**  
株式会社丸菱

**一**  
株式会社マルイチ

**RIKEN**  
三木理研工業株式会社

**GOWA**  
株式会社リカーショップゴワ

**YAMAGA**  
山家漆器店

**和歌山EXPO**

[kaze-hempwear.com](http://kaze-hempwear.com)



【写真・動画撮影】高橋 翔/Podiee Brown、ke-to、Waka FPV  
【編集】濱田 沙綾 【音響】和歌山EXPO/中谷 一陽 【スタッフ】天津 やよい  
【本誌印刷】阪口印刷所  
【KAZE(ケイズ)ロゴデザイン】ハットリ from PuffPuffWear (PuffPuffWear)  
【本誌デザイン】藤澤 哲人(WAKAYAMA WOODYS)  
※本誌に掲載した協賛企業名、出店名は、すべて五十音順となっております

PRINTABLE HEMP WEAR®は合同会社WAKAYAMA WOODYSの登録商標となります。  
呼称:プリントブルヘンプウェア 商標登録番号: 第6472978号



**WAKAYAMA WOODYS, Inc.** TEL 073-488-2007 〒640-8033 和歌山市本町四丁目38番地  
合同会社ワカヤマウッディーズ